

平成 30 年度サービス第三者評価結果（公益社団法人 全国有料老人ホーム協会）

法人名	一般財団法人 日本老人福祉財団	ホーム名	神戸〈ゆうゆうの里〉	ID	3002
	評価機関	京都府認知症グループホーム協議会	評価日	12月13日	

スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	A	A	2.3.3	A	A	6.1.2	A	A
1.1.2	A	A	2.3.4	A	A	6.1.3	A	A
1.1.3	A	A	2.3.5	A	A	6.2.1	A	A
1.1.4	A	A	2.3.6	A	A	6.2.2	A	A
1.2.1	A	A	2.3.7	A	A	6.2.3	A	A
1.2.2	A	A	2.3.8	A	A	6.2.4	A	A
1.2.3	A	A	2.3.9	A	A	6.2.5	A	A
1.3.1	A	A	2.3.10	A	A	6.2.6	A	A
1.3.2	A	A	2.3.11	A	A	6.2.7	A	A
1.3.3	A	A	2.4.1	A	A	6.2.8	A	A
1.4.1	A	A	2.4.2	A	A	6.2.9	A	A
1.4.2	A	A	2.4.3	A	A	6.3.1	A	A
1.4.3	A	A	2.4.4	A	A	6.3.2	A	A
1.4.4	A	A	2.4.5	A	A	6.3.3	A	A
1.4.5	A	A	2.4.6	A	A	7.1.1	A	A
1.4.6	A	A	3.1.1	B	B	7.1.2	A	A
1.4.7	A	A	3.1.2	A	A	7.2.1	A	A
1.4.8	A	A	3.1.3	A	A	7.3.1	A	A
1.5.1	A	A	3.1.4	A	A	7.3.2	A	A
1.5.2	A	A	3.1.5	非該当	非該当	7.3.3	A	A
1.5.3	A	A	3.1.6	A	A	7.3.4	A	A
2.1.1	A	A	3.1.7	A	A	7.4.1	A	A
2.1.2	A	A	4.1.1	A	A	7.4.2	A	A
2.2.1	A	A	4.1.2	A	A	7.4.3	A	A
2.2.2	A	A	4.1.3	A	A	7.4.4	A	A
2.2.3	A	A	4.1.4	A	A	7.4.5	A	A
2.2.4	A	A	4.2.1	A	A	7.5.1	A	A
2.2.5	A	A	4.2.2	A	A	7.5.2	A	A
2.2.6	A	A	5.1.1	A	A	7.5.3	A	A
2.2.7	A	A	5.1.2	A	A	7.5.4	A	A
2.2.8	A	A	5.2.1	A	A	7.5.5	A	A
2.2.9	A	A	5.2.2	A	A	7.5.6	A	A
2.2.10	A	A	5.2.3	A	A	7.5.7	A	A
2.2.11	A	A	5.2.4	A	A	7.6.1	A	A
2.3.1	A	A	5.2.5	A	A	7.6.2	A	A
2.3.2	B	B	6.1.1	A	A	7.6.3	A	A

評価機関所見

◆優れた取り組みと思われる	
スケルNo.	所 見
2-4-6	神戸ゆうゆうの里防災計画を基に日中想定で年2回、夜間想定で年1回の防災訓練を実施している。施設長と担当課の職員が自治会の防災コミュニティ会議に毎月出席し、連携強化に努めている。さらに地域の祭りへの協力として看護師の派遣や食事サービス課からはお好み焼き400枚の提供、ホームで開催する餅つきや2か月に1回ホームで開催されるバイキング「You ゆう～Bar」を案内するなど地域交流に努めている。また毎年自治会主催で開催される世代間交流としてホーム敷地内のエントランスを提供し、小中学校の生徒、父兄、自治会、近隣住民、入居者、職員など約150名が参加して「炊き出し訓練」「耐震車体験」「段ボールベッド・簡易トイレの作り方」「煙体験」など防災知識を深める取り組みを実施している。今年度、支援学校からの就労体験を月2回実施するなど防災訓練にとどまらない地域を巻き込んだ取り組みに力を注いでいる。
4-1-1	入居者相談委員会を設置し、生活サービス課が中心となって各課担当メンバーによる入居者相談担当者会議を毎月開催している。会議では相談内容を共有し、問題解決に向けて個別に検討をしている。また定期的にホームで開催される成年後見相談会、介護サービス説明会はもとより、「有料老人ホームなんでも相談」や「確定申告の相談会」など弁護士や司法書士の相談会は広報紙「まど」、新規入居時に配布される「くらしのしおり」や施設内の掲示にて案内している。さらに入居者には毎朝9時の「朝の放送」で当日の催しをコンシェルジュサービスとして案内するだけでなく、聞き逃した方には内線で再度放送内容を聞くことができる。これにより、入居者が当日の様々なイベントを取りこぼさなく活用できる仕組みを整備している。
4-2-1	新規採用者研修にて高齢者にかかる研修として認知症研修、コミュニケーションスキル及び接遇研修等を実施している。特に接遇に関しては3か月のフォロー研修をするなどコミュニケーションスキル向上に向けた徹底した取り組みとなっている。新規入居後の3か月間「ソフトランディング」として困っていることがないか、希望通りに生活ができているかなど意向を確認するため居室訪問を密にすることで、入居者にきめ細かな対応を行っていることが確認できた。環境の変化に対する不安の解消や他の入居者、職員との仲介役となり新しい生活にスムーズに溶け込めるよう支援している。
4-2-2	年間行事計画は、入居者の要望から通年の日を定めた計画書となっている。ホームで毎月開催される運営連絡会議は各号館で選任した代表者と施設長及び各課の担当者で構成され、入居者の様々な意見や要望を反映している。定期的に行っている「音楽のつどい」「遊歩道散策」「ゆうゆう茶屋」「お寿司の会」「徳川道ウォーキング90分」「You ゆう～Bar」をはじめとして、季節ごとの行事やバスツアーなど多くの企画を用意して、入居者の多様なニーズを反映し、日々の暮らしをより豊かにしている。各種行事は企画書にてリスクマネジメントにも配慮し、実施結果を評価した上で問題点や反省点を次に生かせるような取り組みとなっている。
7-5-4	身体的な理由により外出に支援の必要な入居者に対してアセスメントにより生活歴等の情報を収集するとともに意向を確認した上で個別計画書に位置付け、毎週20分程度の「遊歩道の散歩」の実施や「音楽のつどい」への参加につなげている。また精神的な理由により引きこもりがちな入居者に対しても個別計画書から現場のケアに即した具体的なプランを担当者が作成し、スタッフが情報を共有し、声掛けなど働きかけの統一化を図ることで外出を促すなどの個別の支援につなげている。この支援が入居者の意欲を引き出し、外出企画への参加を実現している。

◆さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点	
スケルNo.	所 見